徳島駅伝　次につなぐ　総合４位入賞

徳島市幸町の新聞放送会館別館前　最終日、43区の國行麗生選手がゴール

新春の阿波路を駆ける「第64回徳島駅伝」が、１月４日から３日間にわたって開催され、16郡市のランナーが健脚を競いました。阿南市チームは、故障者が多い中、粘りの競争。最終日を５位で迎え、最終43区の國行麗生選手が板野郡チームを捉え、昨年と同じ総合４位入賞を果たしました。解団式で森泰英監督は、「３日間ご声援ありがとうございました。来期は、選手それぞれが成長し、新しいチームで飛躍していきたいです」と決意を語りました。

快挙！女子総合５連覇
福良郁美選手が最優秀選手賞

阿南市チームは部門別では、女子総合５連覇を達成しました。女子を引っ張る福良郁美選手は、17区と22区で区間賞を獲得し、女子では２年ぶり４人目となる最優秀選手賞に輝きました。また、２年ぶりに中学生総合優勝を獲得するなど来期以降につながる大会となりました。

徳島市幸町の新聞放送会館別館前
１日目のゴールをする福良郁美選手

福井駅前
10区の南谷　塁選手から
11区の結城直哉選手へ

津乃峰地区防災公園口
12区の森　泰英選手が再出発

徳島新聞社阿南支局前
12区の森　泰英選手から
13区の山﨑優希選手へ

ローソン羽ノ浦中庄店前
13区の山﨑優希選手から
14区の折野僚紀選手へ